

## 高千穂高校に新たな魅力！

# ICTまちづくりLABOグランドオープン！



昨年度、高千穂高校に整備されたICTまちづくりLABOが、7月6日（火）にグランドオープンを迎えました。

当日は、日隈副知事がリモートで参加されたほか、黒木県教育長をはじめ高千穂町長など多くの来賓の方々が出席されました。

式典においてLABOの愛称が「西臼杵コミュニティスペース T-LABO」と発表され、西臼杵3町の形を型取った3つのテーブルも紹介されました。

このT-LABOには最新のICT機器が整備されており、デモンストレーションでは、日之影中学校との地域学習や、海外の大学生による英作文の添削・対話などリモートならではの授業が公開されました。

この施設が完成したことで、教育環境のより一層の充実が図られるとともに、地域の素晴らしい魅力を国内外に発信することで地域振興にも大いに活用できるなど期待が膨らみます。



◆利用方法など詳しくは高千穂高校のホームページを御覧ください。  
高千穂高校 TEL：0982-72-3111

ホームページは  
こちらから→



## 高千穂ITセンタープレオープン タイムカプセル株式会社高千穂オフィス開所式

高千穂ITセンタープレオープン及び  
タイムカプセル株式会社高千穂オフィス開所式



7月9日（金）、高千穂町がIT企業や新規創業者向けに整備を進めているレンタルオフィス「高千穂ITセンター」がプレオープンしました。

同センターは、真名井オフィス（旧法務局跡地）3階にあり、町が令和元年度から県の「県・市町村人口問題対策連携事業」を活用して整備を進めています。2年度には、オフィス用の2部屋と共用会議室を整備し、そのうちの1部屋にソフトウェア開発を行うタイムカプセル（株）（本社・岐阜市、相澤謙一郎代表取締役）が入所しています。この日は、同社の9箇所目のオフィスとなる高千穂オフィスの開所式も併せて行われました。

町は今年度、9月末までに残る同センターの2部屋と休憩スペースの整備を終える予定です。高千穂高校T-LABOと併せて高千穂町のIT発展に更なる期待ができます。



# 高千穂小学校4年生が「神代川」について学びました



6月29日（火）に、高千穂小学校の4年生を対象に令和3年度の第1回目となる「**神代川かわまちづくり**」をテーマにした授業を行いました。

この授業は、「神代川を子ども達が将来誇りに思えるような川にしたい。」という支庁職員の思いと、「児童達に高千穂のことをもっと知って欲しい。」という先生方の思いが重なり、平成29年度から定期的に行っているものです。

今回の授業では、神代川に関する座学の後、現場見学や水質調査にも取り組みました。児童達は、擬岩コンクリートで造られた岩を興味津々で見学し、水質調査では現在の神代川がどういう状況なのかを一緒に考えてくれました。

神代川は、本格的に工事着手してから5年が経過し、現在も、人と川が密接に関わっていた昔の神代川に近づけていく工事を進めています。今回の授業を通して、児童達の「神代川に対する興味」が深まり、「地元高千穂への誇り」に繋がっていくことを期待しています。

## 令和3年度身近な水辺のモニターを 山附公民館の皆様に委嘱しました



左から2番目より佐藤さん、飯干さん、甲斐さん



水生生物調査状況



水の透明度確認

7月14日（水）に、令和3年度身近な水辺のモニター委嘱式を開催し、昨年度に引き続き山附公民館の佐藤公也さん、飯干直喜さん、甲斐重吉さんにモニターを委嘱させていただきました。

「**身近な水辺のモニター**」とは、工事が河川環境に与える影響を明らかにし、今後の多自然川づくりに反映させていくことを目的として、地元活動団体等との協働により、水生生物調査などを実施する方々です。西臼杵地区では、平成17年台風14号で甚大な被害を受け、石積護岸で災害復旧を実施した高千穂町押方の「山附川」で継続的に調査を実施しています。

委嘱式後には、早速、山附川へ移動しモニター活動を実施しました。暑い中でしたが、高千穂町建設課の皆様にも御協力いただき、水生生物を数多く発見することができ、山附川の河川環境は非常に良好な状態であることが分かりました。

今後も、山附川がよりよい河川環境を維持し続けるように調査を実施しながら、他の河川工事でもモニター活動の成果を活かしていきたいと考えています。

▲山附川のホタル  
(6/9撮影)





## (株)コスモス薬品から西臼杵三町の林業施策への寄付金贈呈 ～企業版ふるさと納税を活用した寄付～

7月1日（木）に延岡市役所にて、(株)コスモス薬品から県北7市町村（延岡市、日向市、美郷町、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）が展開する林業施策に対する企業版ふるさと納税を活用した寄付金の贈呈式が催されました。

(株)コスモス薬品の創業者である宇野正晃氏は延岡市出身で、現在全国に1,134店舗を展開しており、「出身地である宮崎県に恩返しをしたい。」との思いで、今回の寄付に至ったとのことでした。

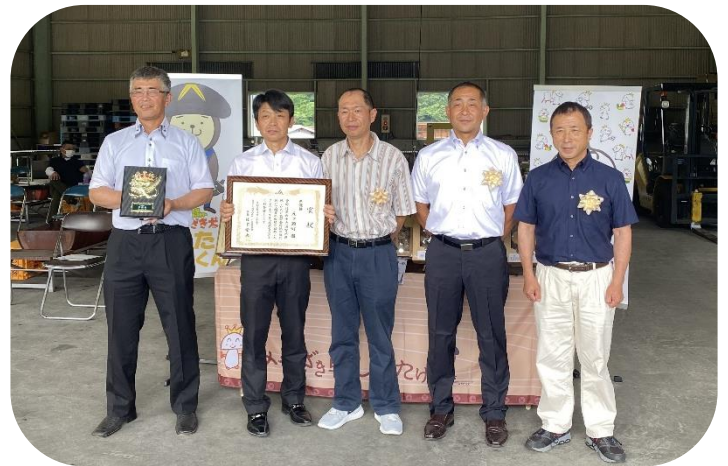
寄付額は総額で1億7,249万円で、うち高千穂町には1,260万円、日之影町には1,820万円、五ヶ瀬町には1,000万円が寄付されました。

各首長が感謝状を横山社長（写真右）へ贈呈し、「各種林業施策へ本寄付金を有効に活用しながら地域活性化に繋げたい。」と表明しました。

(株)コスモス薬品は、次年度以降も「災害に強い森づくり」に寄与したい意向を示すとともに、「他産業による同様の取組が推進されることを期待したい。」と仰っていました。



## 「第66回宮崎県乾しいたけ品評会」の授賞式が開催されました



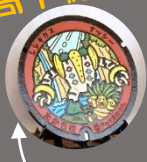
先の宮崎県経済農業協同組合連合会・県内関係農業協同組合・県しいたけ振興会の主催による「第66回宮崎県乾しいたけ品評会」において、西臼杵管内から、甲斐和幸氏（五ヶ瀬町）が箱物と袋物の冬菇（どんこ）の部で最高賞である林野庁長官賞などを受賞したほか、五ヶ瀬町が団体賞で2位の評価を受けたことから、6月22日（火）に五ヶ瀬町戸ノ口集出荷場にて授賞式が行われました。

品評会は、高齢化等により生産者数等は減少傾向にある中、今回も生産者の熱意により県内から300点を超える多くの出品がありました。

今回の品評会で、五ヶ瀬町の乾しいたけの品質の高さが改めて証明されたことを受け、生産者のより一層の生産意欲の向上を期待するとともに、引き続き生産体制の整備や消費拡大への支援に努めてまいります。







# ポケふた お披露目式&設置式

ポケふたは、ポケモンをデザインした22のふたのこと



ナツシー



がまだせ市場に設置されました!

令和3年7月4日(日) 日直 ナツシー

宮崎県は、株式会社ポケモンとの間で締結した「地域活性化に関する連携・協力協定」に基づき、ポケモンの「ナツシー」、「アローラナツシー」を「宮崎だいすきポケモン」に任命し、地域活性化につながる取組を実施しています。

7月4日(ナツシーの日)には、高千穂町のがまだせ市場で県内9町村に新たに設置される「ポケふた」のお披露目式が行われ、今回で県内26市町村全てのデザインがお披露目になりました。会場では、高千穂町の「ポケふた」設置も行われ、多くの来場者が記念撮影をしていました。

## 県営林監視人退職者に知事感謝状が贈呈されました



甲斐浩二さん



堀川容佑さん



吉田治美さん

県営林監視人として、県営林の保護管理を10年以上の長きにわたり積極的に務めてこられた功績を讃え、先般、知事からの感謝状が贈呈されました。

贈呈されたのは、高千穂町の甲斐浩二さん、堀川容佑さん、五ヶ瀬町の吉田治美さんです。

御三方は、日常の監視活動はもとより、大雨があるたびにいち早く現地に足を運び、被害状況等の報告を行うなど、使命感を持って業務を遂行されたところです。今後とも県の林業行政に御協力をお願いすると共に、改めて感謝申し上げます。



## 新盆用のホオズキが出荷されました

6月30日から7月7日にかけて、西臼杵地域の夏の代表的な品目であるホオズキが、新盆用として約2万本出荷されました。

ホオズキは、お盆の飾りとしての需要が高く、西臼杵地域では朝晩が涼しい気候を生かし、18戸の生産者が丹精を込めて高品質なホオズキを栽培しています。

今回出荷した新盆用に続き、7月末からは旧盆用が出荷されています。



今年は実が大きく鈴なりで、色も鮮やかです。

Facebookページ 「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」  
西臼杵観光推進連絡協議会 公式Instagram 更新中！

発行/宮崎県 西臼杵支庁 編集/総務課  
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

